

WEEKLY REPORT

2019年9月11日 (第2471回)



(イラスト) 宜野湾市に伝わる羽衣伝説のイメージ

Rotary



R I 会長：マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度R I 会長テーマ
Rotary connects the world

ロータリーは
世界をつなぐ

GINOWAN ROTARY CLUB

国際ロータリー第2580地区
宜野湾ロータリークラブ



クラブテーマ：会員の、会員の為の、会員による楽しいクラブ作り

例会場：ラグナガーデンホテル tel:098-897-2121 会長：新垣 真由美
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 幹事：新垣 裕樹
事務所：宜野湾市大山2-9-25-2F 広報・会報委員長：阿嘉 よね子
TEL:098-898-9000 FAX:098-898-0003 E-mail:info@ginowan-rc.org



ホームページ [宜野湾ロータリークラブ](#) [検索](#)

>>> 四つのテスト <<<～言行はこれに照らしてから～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

9月【基本的教育と識字率向上月間】
【ロータリーの友月間】

*** 第2470回 (2019年9月4日) 例会報告 ***

■例会プログラム

- 司 会：茂宮 隆次
- 開会点鐘：新垣会長
- ゲストビジター紹介：平仲 絢子
- 斉 唱：君が代・四つのテスト
- ソングリーダー：富田 真理子
- IO思想推進宣言：吉田 明正
- 会長挨拶：新垣会長
- 幹事報告：新垣 裕輝
- 委員会報告：吉田 明正
- 卓 話：山本詩子様
- ココBOX：伊禮 文雄
- 出席報告：伊禮 文雄
- 閉会点鐘：新垣会長



■幹事報告 新垣幹事

- 【理事会報告】
- ①圓通RCとの友好クラブ締結について
- ②愛隣園福祉バザーへの協力方について
- 【幹事報告】
- ①9/18(水) 移動例会(社会奉仕活動)のご案内
- ②9/25(水) 夜間例会(観月会)のご案内
- 【回 覧】
- ①ガバナー月信9月号のご案内
- ②バギオだより9月号のご案内
- ③コーディネーターニュース9月号のご案内
- ④「基本的教育と識字率向上月間」リソースのご案内
- ⑤米山梅吉記念館「館報」のご案内

■ゲスト・ビジター紹介 平仲 絢子

- ☆ゲスト
- ・関谷由紀様(許田英子会員紹介)
- ・仲本真由美様(アラルコン朝子会員紹介)
- ★ビジター
- ・山本詩子様(横浜金沢RC)

■会長挨拶

■新垣会長



皆様こんにちは。今月は基本的教育と識字率向上、そしてロータリーの友月間です。「ロータリーの友」は1953年(昭和28年)11月に創刊され今年で66年を迎えます。皆様ご存知の通り、左綴じ(横組み)のページは主にRIの指定記事や特別月間に関する記事、右綴じ(縦組み)のページは主に地区やクラブの活動そしてロータリアン各自の意見や情報などが掲載されております。ロータリーの友の購読はロータリアンの三大義務の一つであります。購読する事で沖縄に居ながら世界中のロータリーの情報を入手出来ます。そして入手した情報をクラブ活動に活かしていきたいと思っております。因みに私の好きなトピックは”私の宝物”です。本日は日本助産師会より直前会長で横浜金沢RCの会員でもある山本様と国際部事務局の関谷様がいらっしゃっております。昨年この場で”Happy Birth Happy Baby”プロジェクトの概要を説明頂き、非常に厳しいグローバル補助金の審査に係る膨大な申請書類の作成において大変ご尽力いただいたお二方です。来週9/13には当クラブから6名の会員がモンゴルへ出発致します。このプロジェクトを現地で直に経験された皆さんからの報告が今から楽しみです!

■コココの趣旨

■本日は日本助産師会山本様、国際部事務局関谷様このたびのグローバル補助金活用共同事業の成立おめでとうございます。多大な尽力に深く感謝申し上げます。これを機会に国際理解、親善、平和の和を広げてまいりたいと思います。ご苦労様でした。
(東江 繁子)

■山本詩子様本日の卓話ありがとうございました。(茂宮 隆次)

先日、新入会員歓迎会を開いて頂きありがとうございました。これからも宜しくお願いします。ロータリアン・ガンバロー!
(仲村 真二)

前回累計	¥55,000	¥14,580
第2470回	¥7,000	¥888
累 計	¥62,000	¥15,468

《9月ロータリー為替レート \$1=¥106》

■出席報告

出席報告		前回	今回
例会NO.		2469	2470
例会日		8月28日	9月4日
会員数		35	35
出席者数		22	20
出席免除者欠席数		3	3
算定用会員数		32	32
出席率		68.75%	62.50%
メークアップ	一般会員	5	5
	免除会員	0	0
訂正出席者数		27	25
訂正算定分母		32	32
訂正出席率		84.38%	78.13%

■報告



許田英子会員

東京から前会長の山本先生にお越し頂いて感謝申し上げます。又、グローバルファンドにご協力およびご寄付を頂いた宜野湾RCの皆様にご感謝申し上げます。

■委員会報告



丁度一年前に山本さんと関谷さんが来られてこの素晴らしい企画を提案して頂きました。このプロジェクトの申請に関してはすべて関谷さんが一人で作られたものです、大変な苦勞があったと思います。この人がいなかったら補助金はなかったと思います。関谷さん壇上へどうぞ！



関谷由紀様

■例会予定

<本日>

◆第2471回9月11日(水)

ユンタク会

◆第2472回9月18日(水)

移動例会(社会奉仕活動)

場所: 宜野湾市いこいの市民パーク

時間: 11:30集合 12:30点鐘

◆第2473回9月25日(水)

夜間例会(観月会)

場所: ラグナガーデンホテルプールサイド

時間: 19:00点鐘

◆第2474回10月2日(水) 理事会

卓話: 天願勇会員

◆第2475回10月9日(水)

卓話者: ミルマン ジャスミン フランシス

演 題: 未定

◆第2476回10月16日(水)

会員卓話: 城間幹夫会員

演 題: RPAで働き方改革

10月23日(水) 振替休会

沖縄分区IM(10/22)開催と振替

10月30日(水) 特別休会

(定款第8条第1節C項適用)

■他クラブ地区からのお知らせ

例会変更のお知らせ

・コザロータリークラブ

日時: 9月12日(木) 19:00点鐘

場所: 本願寺派 城徳寺

ビジター費: 4,000円

※夜間例会(観月会)に変更

例会休会のお知らせ

・那覇ロータリークラブ

日時: 10月1日(定款8-1-C適用)

感激しております。

紹介されるような事ではありませんが、一年前皆様からご理解とご協力を頂いて動き出し、実はインタビューの時も吉田さんから色々意見を頂いてシュミレーションをして臨みました。このプロジェクトを2580地区の方にもわかってもらいたくて、余計な事をばかり言ったのではと反省したり、不徳な点もあったのではと心配しておりました。結果的に何回も何回も書き直しがあったり、R1から沢山の質問が来て”もうどうしましょう”と思ったくらいですが、山本前会長に励まされ、指導を受けながら毎日頑張っ

株式会社 沖縄アドサービス 代表取締役 白間 弘造 〒901-2223 宜野湾市大山2-9-25 (098) 890-1929

祝「Happy Birth Happy Baby」プロジェクト始動



山本詩子様

皆さんこんにちは。本日はメイクアップさせて頂いてありがとうございます。

この度は宜野湾RCの皆様には絶大なるご協力を賜りましてグローバル補助金の申請が通過する事が出来ました。本日は皆様へのご報告とお礼を申し上げたくお伺い致しました。2580地区と2590地区が合同でグローバル補助金を申請した事がすごく大きな話題になっております。私が来る少し前にガバナー会があり、その中でも大変な話題になっていたとのお話を伺っております。このプロジェクト1年掛かりとなりました。昨年の丁度この時期に宜野湾RCの許田先生を頼りにお伺いさせて頂き、当時の東江会長を始め吉田ロータリー財団委員長に大変お世話になった事そして

結果が出せた事に大変嬉しく思います。感謝申し上げます。総額で176,000ドル約1,900万円の補助金の使い道は、主に新生児蘇生のトレーニングに使う赤ちゃん人形セットをウランバートルを含めてモンゴル21県に配置されます。次に掛る費用は研修会費用です。オープニングセレモニー後に2日間の研修が開始されます。1日目46名、2日目46名のモンゴルの助産師がトレーニングを受けます。モンゴルには約900人の助産師がおりますが、順次継続的にこの研修を受けてもらいモンゴル全土の助産師が等しくこの蘇生技術を修得するという所に到達点を置いております。前回でもお話ししましたように、モンゴルでは1,000人に18人の赤ちゃんが亡くなるという現状をお伝えしました。目標としては2020年までに1,000人に13人まで新生児死亡率を落としていきたいと考えております。この目標に向かって日本助産師会が今後も支援をし、そして更にモンゴルの助産師達が技術を修得して全ての生まれてくる赤ちゃん達が危険な状況にあった時にすぐさまこの新生児蘇生が出来るようにトレーニングを重ねて行って欲しいと思います。今回1回だけのトレーニングで終わらなくて、その提供した人形を基に次々と新しい生徒が生まれますよう支援出来ればと思います。その為にはモンゴルの厚生省を含めて様々な手続きを踏んでいかなければならないので、モンゴルのトゥールロータリクラブとモンゴル助産師会とタッグを組んで、今様々な手続きに翻弄しているところでございます。この研修会に参加できるというのはモンゴルの中ではとても名誉な事で、そのトレーニングを受けたという証明がなされれば助産師として又ひとつ技術を修得した証になる訳です。

今月13日から17日までの日程でモンゴルを訪問致します。初日のオープニングセレモニーでは、21県全ての要人から代表者の方が出席してくれます。トゥールロータリクラブ様、宜野湾ロータリクラブ様と様々な方々の前で贈呈式が行われます。2590地区の代表者として露木前ガバナーで現在はロータリー財団委員長をしております。その委員長も大変喜んでくれまして、グローバル補助金を横浜と沖縄がタッグを組んだという事は非常に珍しいケースであるという事も高く評価されたという事を伺っております。このプロジェクトの中に私も許田先生も助産師である事が成功に向かって行ったのではないかと考えています。

オープニングセレモニーが済みましたら、ロータリアンが中心となりまして厚生省と国会議事堂にお伺いします。今現在調整を進めておりますのが、モンゴルの大使館の方に表敬訪問出来ればと問い合わせをしているところでございます。せっかくモンゴルへ行くのですから、オープニングセレモニーと表敬訪問だけでは寂しいので、1日だけモンゴルらしい草原の風景と羊の群れを皆様にご覧頂きたくて観光の方を計画致しました。

さて、私達がこのトレーニングが如何に重要かという考えに至った経緯をお話します。日本助産師会はICM（国際助産師連盟）に加盟しております。その中にツイニングプロジェクト（すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを）というのがありまして、先進国と発展途上国がこのツイニングお互いに刺激しながら状況を良くしていこうと活動をしていく中でモンゴルの状況を私達は知る事となりました。九州大学谷口初美教授を中心に現地調査を実施し、まずは妊産婦たちの意識改革をしなければいけない。大きな赤ちゃんを産むことが良しとされているモンゴルの風土を変えていかなければならない。自分の赤ちゃんを自由に動かして、運動能力を高め、引き締まった赤ちゃんを元気に生もう！という風な指導に変えて行くためにパンフレットを作ったり、携帯のアプリまで作って次の段階に進もうという時に、やはり仮死状態で生まれた赤ちゃんを助けることが非常に困難であった。そして助けられずに亡くなった赤ちゃんを目の当たりにしてモンゴルの助産師達は非常に苦しい事であった訳です。同時にJICAの研修も日本助産師会が請けておりまして、モンゴルの助産師を対象に日本で約1ヶ月に及ぶトレーニングを受けて本国へ帰りますが、グローバル補助金で贈呈された人形を使ってその技術を益々広めていくというストーリーがとてもスムーズだったと思います。ご清聴ありがとうございました。

職業宣言 1. 自分の職業に誇りを持つことから、職業奉仕は始まる。